



# 希望のケルン

平成31年2月8日発行

藤沢町住民自治協議会

〒029-3405

一関市藤沢町藤沢字仁郷 12 番地 5

電話:63-5515 Fax:63-5517

Mail: [fujii@dontokoi-f.com](mailto:fujii@dontokoi-f.com)

ホームページ URL: <https://dontokoi-f.com/>

皆様の情報をお待ちしております。

## 平成30年度地域づくりフォーラムを開催



挨拶をする千田博会長

平成30年度地域づくりフォーラムは、2月3日（日）藤沢文化センター「縄文ホール」を会場に開催し、約250名が来場しました。

この「地域づくりフォーラム」は、自治会や各種団体の実践活動の発表であり、次なる活動への情報共有の場となっています。

千田会長は、「この地域づくりフォーラムが、地域住民が自主的・主体的に、自らの意思と責任ですすめる『住民自治による地域づくり』の、さらなる前進につなげる機会にして欲しい。」と挨拶しました。

今年度は、平成26年度に策定された藤沢地域「地域づくり計画」の見直しの時期となっており、各地区で話し合いやワークショップ・アンケートを実施し、新たな5年間の「地域づくり計画」の策定をすすめてきました。その中から藤沢・黄海・徳田・保呂羽の4地区が、計画を発表しました。

目指す地域の将来像として、藤沢地区では「安心、安全、健康に暮らせる、住みよいまちづくり」、黄海地区は「ふれあいのある快適な住環境の創造」、徳田地区は「住む人が笑顔あふれる、夢と希望に満ちた徳田の郷」、保呂羽地区は「安心と交流の里計画Ⅱ」と題して、計画内容を発表しました。今後各地域から出された計画をもとに、藤沢町住民自治協議会の「地域づくり計画」の策定をします。

講演では、花巻市東和町の役重眞喜子さんが、「あつまる・ぬぐだまる・いま始まる～東和と私の4半世紀～」と題して、お話頂きました。役重さんは千葉県出身で、農水省の農家研修で東和町に来られ、その地域の「人」と「牛」に魅せられ農水省を退職し、定住を決意されました。東和町や花巻市では職員として勤務され、現在では「行政と地域コミュニティ関係」の研究や、東和地域交流の町づくり協議会プロジェクトマネージャーとして、「ふるさとづくり」「地域づくり」の活動をされています。

講演では、牛に魅せられ東和町に定住してからの4半世紀のことや、大好きな東和町をもう一度元気にしたいとの思いを語られました。

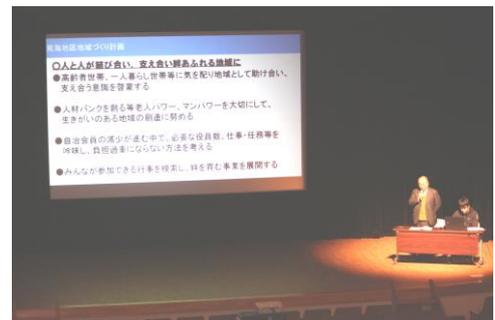


講師の役重眞喜子さん

「地域づくり」の活動はゼロからのスタートで、焦らずにコツコツとすすめ、内部の異論も大切に、何度でも立ち止まることの大切さや、「地域性」とは、歴史に深く根ざした強いもので、「住民自治」「まちづくり」の基礎となるものと話されました。

最後に、これからも都市化に抗うことや地域を守ることを諦めずに、地域づくりをすすめて欲しいと話されました。

この貴重なお話を大切にして、今後の地域づくりに活かしていきたいものです。



計画を発表する黄海地区住民自治会長

# 第 77 回生活物資リサイクル集団回収事業が始まる！

第 77 回生活物資リサイクル集団回収事業を、下記の日程で実施します。今後とも、限りある「資源」のリサイクル活動への取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

平成 30 年の「リサイクル収益金」は、3 月中に各自治会に配分します。



地区名	期 日	時 間	収集場所
八 沢 地 区	2 月 24 日 (日)	午前 6 時 30 分 ～ 7 時 30 分	藤沢スポーツランド向い駐車場
保呂羽地区	3 月 3 日 (日)		第 39 区自治会リサイクル収集ステーション ⇒ 保呂羽コミュニティセンター
大 籠 地 区			郷土文化保存伝習館 ⇒ 大籠コミュニティセンター ⇒ 第 43 区自治会館
藤 沢 地 区	3 月 10 日 (日)		藤沢文化センター駐車場
黄 海 地 区	3 月 17 日 (日)		藤沢市民センター-黄海分館駐車場

## 藤沢町住民自治協議会第 6 回理事会を開催

藤沢町住民自治協議会第 6 回理事会は、1 月 24 日 (木) に藤沢市民センター大会議室で開催しました。理事会に提出された報告や議案は、原案通り承認可決されました。

- 報告 1、平成 30 年度藤沢町住民自治協議会会計について  
2、平成 30 年度藤沢市民センター運営状況及び平成 31 年度事業について
- 議案 1、平成 30 年度藤沢町住民自治協議会会計第一次補正 (案) について  
2、平成 30 年度地域づくりフォーラムの役割分担について

## 保呂羽地区で、「白雉の里交流会」を開催

保呂羽自治会協議会の「白雉の里交流会」は、1 月 13 日 (日) に保呂羽コミュニティセンターを会場に開催されました。

この交流会は、町協議会の「地域のお宝活用事業」として取り組み、藤沢町史談会会長の八巻徹氏が「高橋東皐と青木柳郊～文献からみる師弟関係～」と題して講演を行いました。

この日は恒例となっている保呂羽地区どんと祭も行われ、地域の方々がたくさん参加し、熱心に聴講していました。

現在は、「白雉の里交流館」に展示する保呂羽地区の歴史的な資料等を集め、地域の歴史を後世に伝えるための活動をしています。



八巻徹藤沢町史談会会長が、講演

## 徳田地区で、「交流の丘」の整備が進む



「交流の丘」への進入路を整備

徳田地区住民自治協議会では、町協議会の「おらほの里盛り上げたい事業」を活用し、「徳田交流の丘」の整備を昨年度からすすめています。

交流の丘は、東日本大震災の被災者支援に取り組んでいた徳田の方々にお礼として「大島桜」を頂いたことをきっかけに計画されました。

徳田交流館近くの遊休地を活用し、地域住民で桜の植樹や、丘の整備を行い、憩いの場をつくることになりました。

徳田地区住民自治協議会の千葉会長は、今後交流の丘にあづま屋などを作り、地域や町内の憩いの場として活かしていきたいと話していました。